

共に働く街を創るつどい 2024 終えて 障害者の職場参加とひとりひとりのもやもやと



12月8日(日)、越谷市中央市民会館で、40名余りの会員、関係者のみなさんの参加により「共に働く街を創るつどい2024」を行いました。参加いただいた方々、メッセージを下さった福田市長さんに感謝致します。

第1部では大塚代表理事と山崎施設管理者から、せんげん台「世一緒」をベースに取り組んでいる「障害福祉サービス事業を足場にした職場参加」の試みの報告がありました。

第2部では全員が4グループに分かれ、ワークショップを行いました。名付けて、「職場参加の灯を受け継いでゆくーもやもやの中にヒントを探る」。コーディネーターの朝日県立大名誉教授からの説明は、「批判厳禁。便乗歓迎。何かを決めたり発表するものではなく、自由に意見を出してもらえば」。

詳しくは、次号の職場参加ニュースで報告しますが、このワークショップによって、「つどい2024」にみんなが「職場参加」した実感がありました。「あなたはこの仕事に向いてない」といわれる人も含めて、雇用・就労という枠をとりあえず外して職場実習や体験として受け入れることは、職場・地域にとっても、入ってゆく側にとっても、かけがえのない気づきや未知の世界の入り口になるかもしれません。ワークショップも、NPO法人との関りをふくらませたり、それぞれの日常の足場をふりかえるきっかけなどになれば……。

そして、第3部では、「共に働く街をめざす自治体提言2024」が、障害者達の自己紹介をまじえて発表されました。この提言は、これから近隣の自治体首長を訪問して手渡し、懇談する予定です。

せんげん台「世一緒」に職場参加しませんか

ただいま、就労継続支援B型事業所せんげん台「世一緒」(写真:せんげん台すいごごカフェ風景)では常



勤職員1名を募集中です。給料は安いかもしれませんが、みんなが共に働き・共に生きる地域をみんなで創り出していこうという思いを共有できる職場です。関心のある方は、いますぐハローワークの求人情報を検索なさってください。

それとは別に、せんげん台「世一緒」に職場参加をしませんか。職場見学や職場体験してみませんか。あなたの思いやご都合と、現場の条件とを調整して具体化してゆく必要があります。まずは当ニュース EXTRA のTELまでご一報ください。

市長
様

NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会
代表理事 大塚 眞盛

共に働く街をめざす自治体提言 2024

1) 地域で共に学びたい本人・保護者への対応は希望通り地域に就学決定すること

共に学び合うことは職場参加を実現する大前提です。就学先の決定について「本人及び保護者の意向は可能な限り尊重される」とされています。しかし、就学先決定前に「対象となる子供が学校生活を送るうえで課題となりそうな内容」や「基礎的環境整備」、「合理的配慮を含む必要な支援の内容」等々の説明を行って、本人及び保護者の不安をかきたてることは、合理的とは言えません。合理的配慮は予め説明するものではなく、本人がまず就学して学校生活を経験して、そこで配慮が必要と感じた場合、学校に対して求めてゆき、建設的対話を行う中で具体化してゆくものです。通常学級では合理的配慮ができないことを事前相談で説明され、希望を特別な教育の場へ変更したとしたら、教育委員会が差別解消法に問われてもしかたありません。

2) 就労の為の職場実習だけでなく全障害者施設、精神科院内デイケアからの職場体験を

この20年間障害福祉サービスが急拡大した半面で、障害のある人と見れば専門家しか付き合えないと思われ、本人も職員や支援者以外の人とのつきあいがなくなり、小さな密室が地域に張り巡らされた感じが強まっています。だからこそ、サービスの枠を超えた出会いが、地域にとっても必要です。就労。雇用を前提とせず、市役所等や店、工場、農家で、障害者福祉施設、院内デイケアの利用者が職員等の支援を得て職場体験を行う事業を実施してください。先行する越谷市は近隣市へ、地域適応支援事業の実績を含め伝えることに努めて下さい。

3) 国連障害者権利委員会勧告に沿い、地域で共に働く諸事業の情報提供や連携の支援を

世界各国の障害当事者が委員の多数を占める国連・障害者権利委員会が、日本の障害者福祉サービスが社会から閉ざされた体系であること、他の人々と共に働くことを支援する仕組みに転換すべきと勧告しています。この日本でも、社会的協同組合（共同連）、労働者協同組合、ソーシャルファームなどの名によるさまざまな共に働く事業が生まれています。当会の「職場参加」はそれらと連帯し、労働・雇用と福祉・医療の狭間にある人々も含め、共に働く社会をめざしています。貴市として、それらの情報を把握し、市民への広報や事業立ち上げ、連携の支援を検討して下さい。

4) 貴市の零細企業や自営業等向けに、障害者雇用体験事業や納付金関係助成金の案内を

法定雇用率を柱とした日本の障害者雇用促進法は、近年雇用代行業者が全国各地で急成長したり、今年3月—7月にはA型事業所で働く障害者4279人が解雇される事態を招いたりしており、「ザル法」といわれてきた問題点をさらけ出しています。地域の大多数の事業者は雇用義務のない小・零細企業で、そこに最も多くの障害者が雇用されている実態があります。貴市として、地域の小・零細企業に納付金関係助成金の案内や手続き支援、また県の障害者職場実習支援事業等の紹介を行うなどの支援が大切です。

5) 市役所及び市の公共事業で共に働く職場を拡大し、その経験を地域に役立てること

貴市は、地域最大の職場をもち、障害者活躍推進計画を進め、また事業主、障害者への援助や職業リハビリテーション、福祉施策を総合的に推進されておられます。その重要な位置をさらに活かすため、市役所及び関連事業で共に働く職場を拡大し、そこでの好事例や課題を地域の事業者、障害者、関係者が共有し、地域で役立てられるように取り組むことを提言します。

6) 各世代の支援計画、都市計画に反映を、県・国の施策に反映されるよう取り組みを

上に述べたことについて、貴市の障害者計画、障害福祉計画はもちろんのこと、高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画、子ども子育て支援事業計画、教育振興基本計画、地域福祉計画、総合振興計画等の見直しの際にも反映されるよう、あらためて提言します。

また、県および国の施策において、関連した取り組みがなされるよう、働きかけられることを提言します。



【今後のイベントのお知らせ】

障がいのある人も無い人も一緒に！

① 2025年1月17日（金）13：30～15：30

1泊避難所体験DVD視聴！障がい者の避難所って？！

&介護人学習会（越谷市には、市民が作った障がい者を支える制度がある）

～ 阪神淡路大震災から30年を記念して開催 ～

最寄り駅 東武スカイツリー線蒲生 徒歩13分

参加費：無料、どなたでもどうぞ！

場所：越谷センター2F会議室 越谷市大間野町1-21-2 駐車場有り

② 2025年2月22日（土）13：30～15：30

越谷梅林公園に行こう！ 障害があってもなくても、

一緒に出かけよう～！一緒に遊ぼう～！

集合場所：①東武スカイツリー線、北越谷西口 11：00

② // 大袋駅西口 11：00

③梅林公園（現地） 11：30

持ち物：昼食、飲み物、必要に応じてピクニックシート

参加費：無料 どなたでもどうぞ！

一緒に歩いたり、お花見したり、ゲームしたり、

おしゃべりしたり、時を一緒に過ごすことで、見えてくることがあります。

障がいのある人も無い人も、一緒に町を歩いてみよう。そこから見えてきた事を、話してみよう！

これからのすいごごカフェ ラインナップ

1月8日(水) 竹迫和子さん(障害児を普通学校へ全国連絡会世話人)

15日(水) SHUさん(Xジェンダー)

22日(水) 松島篤志さん(自然農業者) **会場: せんげん台「世一緒」**

29日(水) 有吉 涼さん(ケアシステムわら細工職員)

2月5日(水) 半田清雄さん(元埼玉高教組共育共生部長)

12日(水) 山脇雅史さん(流離のカリンバ奏者)



時間はいずれも13:30~15:00。22日の松島さんだけがせんげん台「世一緒」を会場。ほか
はみなハローワーク越谷はす向かいの職場参加ビューロー世一緒で開催します。

なお、1月15日(水)は、Lunch Café どっこいしょ。キッチンとまとのカレー(珈琲付き)
が300円で食べられます。食数限定のため、予め電話でご確認ください。

市民読書会講演会

支援から共生へ

～障がい者福祉の新たなステージ～

日時:2025年2月15日(土)13:30~15:30

講師:NPO法人「障害者の職場参加をすすめる会」

事務局長 山下浩志さん

会場:越谷市立図書館2階 視聴覚ホール

申込:1/18(土)~2/7(金)(電子申請・40人)